

“価値観の多様性に対応したものづくりイノベーション”

＜基調講演＞

1 DCAEによるモデルベース開発

キャテック株式会社 取締役社長 長松 昭男

車両のモデルベース開発とNVH

サワダ技研株式会社 代表取締役 沢田 龍作

【会 期】 2018 年 9 月 6 日(木)～7 日(金) 両日共に 10:00～17:00

【会 場】 中央大学理工学部 (後樂園キャンパス)

【主 催】 (一社)スマートサウンドデザインソサエティ(SSDS) 日本モーダル解析協議会(JMAC)

【協 賛】 (公社)自動車技術会 (一社)日本音響学会 (一社)日本機械学会 (公社)日本騒音制御工学会

日本モーダル解析協議会(JMAC)では、振動騒音、音質や感性評価などダイナミクス関連の実験や解析技術者へ情報発信と若手エンジニアの育成を推進することを目的に、1991年発足から毎年技術講演会を開催して参りました。

2018年度SSDS/JMAC技術講演会は、“価値観の多様性に対応したものづくりイノベーション”をテーマに、大学・産業界の第一線で活躍されている講師をお迎えして技術講演・研究事例発表を行います。また、併設展示会「サウンド&バイブレーションデザインフェア2018」や「ランチセッション」を通して振動騒音、音質や感性評価などに関する最新の情報収集や意見交換ができ、産学官の人的交流にも貴重な機会となります。万障お繰り合わせの上、是非ご参加頂き、日々の業務にお役立てください。

一般社団法人 スマートサウンドデザインソサエティ 代表理事
中央大学 理工学部 教授 戸井 武司

日本モーダル解析協議会 会長
中央大学 名誉教授 大久保 信行

参加費(2日間)

法人(3名様まで参加可)	¥30,000
個人一般	¥12,000
SSDS 法人(3名様まで無料参加可)	
個人会員(SSDS および関連学会個人会員)	¥10,000

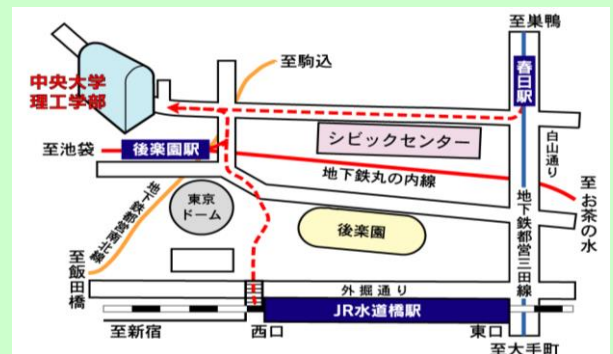
※参加費には下記が含まれています
技術講演資料、懇親会、ランチセッション

参加申込み等、詳しくは下記ホームページにアクセスをお願い致します。

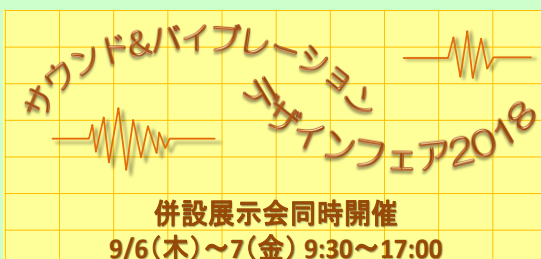
日本モーダル解析協議会(JMAC) <http://modal.jp/>

会 場

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」徒歩5分
都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」徒歩7分
JR総武線「水道橋」徒歩15分



サウンド&バイブレーションデザインフェア2018



振動騒音、音質や感性評価の専門展示会

＜2018 年度出展予定企業＞ ★ランチセッション講演企業
★アルテアエンジニアリング、エー・アンド・デイ、エステック、小野測器、キーデバイス、シーメンス、システムプラス、SMART MANUFACTURING TECHNOLOGY JAPAN、東陽テクニカ、B&K ジャパン、フィート・ルネサスイーストン、フォーラムエイト、フォトロン、富士セラミックス、ヘッドアコースティクスジャパン、リオン

9/6(木) 2018年度 SSDS/JMAC 技術講演会-I

9:30	— 受付・展示会 —	
10:00	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください*	
10:00	基調講演「1DCAEによるモデルベース開発」	
11:20	わずか80年前に出現したコンピュータは今、ものづくりを根底から変えようとしている。このものづくりイノベーションのうち製品の設計開発に焦点を当て、最近登場した1DCAEによるモデルベース開発の内容を説明し、またその動向と展望を論じ、企業がそれを正しく導入し有効活用するための留意点を紹介する。	キャテック株式会社 取締役社長 長松 昭男
11:20	「エンタテインメントロボット a i b o の商品化」	
12:05	2018年1月に復活した、ソニーのエンタテインメントロボット、aibo(アイボ)のプロジェクトについて、経緯からその設計思想、ビジネス展望までを紹介する。	ソニー株式会社 AI ロボティクス ビジネスグループ SR 事業室 総括部長 松井 直哉
12:05	— ラボツアー (12:10-13:00)・休憩/展示会(12:05-13:30) —	
13:30	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください*	
13:30	* ラボツアー (戸井研究室の最新研究紹介) 参加希望者は、受付にて事前登録ください*	
13:30	「レクサスエンジンサウンド開発」	
14:15	LC500のサウンドを実現させた吸気系システムと排気系システムの機構概要と、LFAから継承しているレクサスのエンジンサウンドの考え方について紹介する。	トヨタ自動車株式会社 レクサス車両性能開発部 動的性能開発室 中山 裕介
14:15	「自動車室内の報知音に対するサウンドデザインの取り組み」	
15:00	昨今、自動車に高度な運転支援機能が組み込まれ、ドライバーへの情報提供における「音」が果たす役割は大きい一方、方法論は確立されていない。欧州自動車における開発例を交えながら、音情報の提供について考える。	OPTIS Japan 株式会社 音響ビジネス開発マネージャー 廣澤 邦一
15:00	— 休憩・展示会 —	
15:30	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください*	
15:30	「音楽の概念見直しと音の効果的な利用について」	
16:15	音には本来本能と紐づいた「機能」があり、「音」や「音楽」に紐づいた価値や機能、マネタイズも含めてより新しい考え方や未来があると考え、「音楽拡張」をコンセプトに活動している事例を紹介する。	有限会社インビジブル・デザインズ・ラボ 取締役 松尾 謙二郎
16:15	「音像定位を活用したものづくりサウンド・イノベーション」	
17:00	自動車車室内の走行音や警報音、住環境におけるマスキング音に音像定位を活用することで、機能性や快適性などの新しい価値を創造するものづくりサウンド・イノベーションについて紹介する。	中央大学 理工学部 教授/(一社)スマートサウンドデザインソサエティ 代表理事 戸井 武司
17:10	CONFERENCE RECEPTION	
19:00	情報交流の場です。是非ご参加ください。(無料)	

9/7(金) 2018年度 SSDS/JMAC 技術講演会-II

9:30	— 受付・展示会 —	
10:00	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください*	
10:00	基調講演「車両のモデルベース開発とNVH」	
11:20	車両の開発プロセスにおいて、上流と下流、計算と計測モデルを論理的に繋ぐ方法論をモデルベースと定義する。本講演では、車両にとって重要な機能の一つであるNVHを例に、コンセプトと取り組み事例を紹介する。	サワダ技研株式会社 代表取締役 沢田 龍作
11:20	「静粛感指標と実稼動TPAによる車室内音対策指針の検討」	
12:05	自動車の車室内音において、独自の静粛感指標により要改善対象音を特定し、対象者の改善を目的とした車両各部特性の対策指針を、実稼動TPAを用いて検討した事例について紹介する。	株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 第11技術開発室 第2ブロック 主任研究員 能村 幸介
12:05	— ランチセッション (12:10-12:50)・休憩/展示会(12:50-13:30) —	
13:30	* 12:10-12:30 アルテアエンジニアリング/12:30-12:50 未定(昼食をご用意致します)*	
13:30	* ランチセッション後は、展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください*	
13:30	「JR東日本における新幹線の開発」	
14:15	JR東日本発足以降30年以上が経過し、この間新幹線ネットワークは拡大され、現在東北新幹線では国内最高となる時速320km運転が行われている。JR東日本におけるこれまでの新幹線開発を振り返るとともに今後について展望する。	東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 先端鉄道システム開発センター 上席研究員 栗田 健
14:15	「自動車用車体のデジタル開発を支える音響解析技術」	
15:00	日本では、エンジニアリングモデルを省略し、数値解析を活用した試作レスの車体開発が一般的になった。ここでは、音響解析の精度向上のために実施してきたキャビンの音場解析精度向上の取り組みについて紹介する。	国立大学法人 京都大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 研究員 丸山 新一
15:00	— 休憩・展示会 —	
15:30	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください*	
15:30	「解析技術者の視点に基づく技術経営」	
16:15	騒音解析などの解析技術に取り組んだ経験を持つ報告者は、リーマンショック以降、「技術を事業に繋げる」施策提案のための技術経営を担当した。技術者が担うべき顧客価値獲得の活動について検討した経緯と現状を紹介する。	コニカミノルタ株式会社 技術戦略部 技術経営顧問 三輪 正
16:15	「日本型ビジネスホテルのインテリアデザイン」	
17:00	多様化する宿泊ニーズに対応すべく、そのホテル形態やサービスが変化している。コンパクトスペースでエコノミーな、日本型ビジネスホテルの事例を交え、インテリアデザイナーの立場で、その「ものづくり」を紹介する。	有限会社アルグレイン 代表取締役 池田 和修